



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第352号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



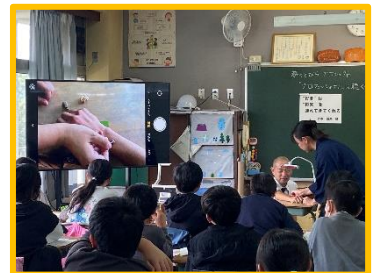
布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「夢の扉プロジェクト」

湖北台東小学校の6年生総合的な学習の時間「夢の扉プロジェクト」で Abi-キャリアの授業が展開されました。我孫子市内や柏市で「イラストレーター」「鍼灸師」「ラーメン職人」「農家」の仕事をしている方を講師に招き、4つの職業について学びました。

授業は、1つの教室に6年生が集まり、学年全員で1人1人の講師の先生からお話を伺う形で行いました。仕事で使用する道具を触らせてもらったり、施術する様子を間近に見せてもらったりもしました。そのなかで、「地道な作業を楽しいに変えるコツ」や「すきを見失わないことの大切さ」、専門的な知識の奥深さと面白さを知ることができました。



また、農家の方からは、我孫子市の農業界が抱える課題とそれに対する取り組みについても教えていただきました。児童からは、「夢の叶え方が印象に残った。」「当たり前だと思っていたことを一生懸命やるのが大切だと分かった。」などの感想がありました。

直接話を伺い、疑問に思ったことをその場で質問し、対話をしたことでそれぞれの職業についての理解を深め、自己実現とのつながりを考えるきっかけになる授業でした。

Abi-ふるさと「嘉納 治五郎」

湖北小学校の5年生総合的な学習の時間に Abi-ふるさとの授業が展開されました。今日の授業のめあては、嘉納治五郎について知り、自分と関連付けて考えることです。

初めに、治五郎について知るため「柔道」「オリンピック」「我孫子」という3つの視点から嘉納治五郎の人物像をまとめました。ひ弱で怒りっぽい性格だった治五郎が柔道と出会い変わっていった姿には「努力」「成長」「あきらめない」、オリンピックを東京によんだり、我孫子に文人たちをよんだりした様子には、「積み重ね」「行動力」などの言葉がキーワードとして挙がりました。また、我孫子第一小学校に自筆の書を贈ったことを知ると「人とのつながり」や「言葉」を大切にしたりと嘉納治五郎について理解していきました。キーワードに挙げた言葉を基に自分との関連を考える場面では、自分だけでなく学級の友達の姿とも結び付け、考えを深める様子が見られました。最後に考えたことを全体で発表し、それぞれの思いを共有しました。

先人の生き方を自分と関連付けて考えることができたのは、担任の先生が既存のワークシートを児童の実態に合わせて工夫し、授業を大切にしてくれたことが大きいと思います。先生の思いと児童の学びがしっかりとつながった授業でした。

